

恋は、
たいてい原価割れ
かもしれない。

(会計学的には)



でも使ったお金には意味がある。
そう考えるのも会計学です。

プレゼントを贈ったり、高級レストランに連れて行ったり。愛もお金も注いだのに、3カ月であっさりとふられてしまったとしたら。会計学の考え方でいえば、原価を割ってしまったことになります。でも、そのお金はほんとにマイナスなのか。そう捉え直すのも会計学です。この3カ月の出来事は、経験という得難い価値をもたらしてくれた。すると、この恋にかかったお金は未来に対する先行投資とも言えますね。会計学はそんな風に金額に着目して、その数字の意味するほんとうの価値を読み取ってゆく学問です。何かとお金のことが気にかかる今だから。会計学はもっとみなさんの生活の中で役立つ学問だと思います。良かったら、あなたも。

(経営メディア学科教授 井出 健二郎)

和光
3分
大学



小田急線鶴川駅から
徒歩約15分
<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる
和光大学
現代人間学部 表現学部 経済経営学部